

神戸市従業員労働組合環境支部との交渉議事録

1. 日 時：令和7年10月8日（水）16:31～16:44
2. 場 所：三宮プラザ EAST 地下1階 環境局会議室2
3. 出席者
 - （市）部長（施設担当）、事業系廃棄物対策課長、業務課課長（事業管理担当）、業務課長、業務課係長（職員担当）
 - （組合）市従環境支部副支部長、書記長、書記次長兼会計、書記次長、他3名
4. 議 題：年末年始特別作業団体交渉
5. 発言内容：

（組合）9月11日（水）に提案いただいた年末年始特別作業の実施については、我々としても、市民の方に気持ちよく新年を迎えていただくために非常に重要であると認識している。また、特別作業を行わない場合、年始のごみ量が多大となり、一部のクリーンセンターにおいては処理能力を超えてしまう恐れがあるため、特別作業の必要性についても十分に理解している。支部においても提案いただいた2案について、十分に検討させていただいたが、市民や職員に与える影響などを総合的に考慮したところ、慎重に対応する必要があると考えている。そのため、改めて局としての方針について説明をお願いしたい。

（市）案1と案2を比較すると、案2の場合は、作業を4日とすることで、各日の作業を平準化することができ、余裕をもった作業が可能となる一方で、案1と比較して東クリーンセンターや妙賀山クリーンセンター、布施畠環境センターでの作業増加や、資源リサイクルセンターの委託業者に休日対応を求めることが必要となる。また、案2は年末に4日間の連続勤務となる点において、従事する現場の職員の負担が案1より大きいと考える。よって、実施にあたっては案1が望ましいと考えている。

（組合）案2の方がより市民にわかりやすく、混乱を招かない日程と考えますがいかがか。

（市）年末年始特別作業の日程が変則的になることについて、市民には一定ご理解をいたいでいると考える。引き続き今年度も丁寧な広報を行うことで、混乱を招かないよう情報発信に努めて参る。

（支部）局としての方針を確認することができたので、我々としても案1での実施を進めていきたいと考える。

しかし、案1を実施するにあたっては職員の健康管理、交通安全対策、作業事故防

止対策といった安全性を確保することが重要であると考えるため、いただいた提案で把握ができなかった内容について確認させていただくので、よろしくお願ひしたい。

(支部) それでは、収集部門について質問させていただく。

年末年始特別作業期間中は平常時とは異なり、渋滞、降雪、路面凍結などの道路状況の影響により、計画通りに作業を行うことが困難となることが予測されるが、最終帰着時間の想定や安全対策について説明をお願いしたい。

(市) 昨年度は大きな渋滞の発生や積雪もなく、31日には17時20分までに全市のごみ収集は終了している。今年の31日の燃えるごみの滞留日数は昨年度より2日多くなっており、ごみ量は昨年度の実績より多い想定となっている。なお、最終帰着時間は18時01分と想定しており、予備車の活用を含め各事業所で工夫することで、対応は可能と想定している。安全対策も含めたリスク管理については、局としても重要な業務であり、事前の対応も重要となる。降雪対策としては、「積雪時等非常時における作業手順」について改めて周知を図るとともに、例年同様スタッドレスタイヤの装着を行っていきたいと考えている。あわせて、作業用後部ライトの装備や点検整備など、作業上必要な安全対策を講じていきたいと考えている。なお、備車についても同様の対応をしていきたいと考えている。

(組合) 昨年度の特別作業において、何かトラブルはあったか。また、予期せぬ事態が発生し収集業務が滞った場合の対応について説明をお願いしたい。

(市) 昨年度については、30日に発火事故が1件発生したが、現場で迅速にご対応いただいたことで、大きな影響なく当日の収集を終えることができた。また、大きな渋滞が発生した場合には、搬入先を変更するなど弾力的な対応を行っていきたいと考えている。

(組合) 次に処理部門について質問させていただく。

クリーンセンター、布施畠環境センター、資源リサイクルセンター、カセットボンベ・スプレー缶の中間処理施設について、受け入れ時間などの具体的な考え方について説明をお願いしたい。

(市) クリーンセンターでの焼却処理につきましては、今年度も昨年度に引き続き焼却を継続することとしている。また、直営の搬入受け入れにつきましても、31日まであることから、全車搬入が終了するまで受け入れる体制をとる計画としている。基

本的に全体の焼却計画と搬入計画に準ずるが、期間中の搬入量やピット残を見ながら、業者搬入調整ならびに中継の搬入を臨機に組み替え、年末年始の各クリーンセンターのピット残が、それぞれの規模に応じたものになるように調整し、全体として、より安全な処理計画を組んでいきたい。次に、中継施設である妙賀山クリーンセンター、落合クリーンセンター、荔藻島クリーンセンターでは、直営の搬入及び中継搬出が31日まであることから、年始の作業に影響がでないよう考慮して作業終了としたいと考えている。各施設におけるごみピットや灰ピットの残については、処理や搬入計画に基づいて、それぞれのピット容量に応じて計画している。

布施畠環境センターの受入時間については、直営、中継は、12月31日（水）の作業終了まで、許可業者は12月31日（水）16時まで、大型ごみは12月31日（水）の作業終了までを予定している。また、中継搬出と破碎選別業務につきましては、12月31日（水）の作業終了までを予定している。尚、個人の受入時間については12月26日（金）までとし、年始は1月5日（月）から平常受付を予定している。次に、資源リサイクルセンターの受入時間については、直営、中継は、12月30日（火）の作業終了まで、31日（水）は12時までの予定としている。尚、個人の受入時間については12月26日（金）までとし、年始は1月5日（月）から平常受付の予定としている。

カセットボンベ・スプレー缶の中間処理施設の受入時間については、12月29日（月）と30日（火）は作業終了まで、31日（水）は、8時から12時までの予定としている。なお、許可業者については、29日（月）と30日（火）は、時間を区切って8時から15時まで、31日（水）は、直営と同じ8時から12時までの予定としている。

（組合）炉の立ち下げ・立ち上げ時のトラブルなどのリスクを避ける観点から、昨年度の特別作業においては、立ち下げを行わず焼却を継続し業務を行ったが、何かトラブルはあったか。今年度についても立ち下げを行わない計画となっているが、年始の出務体制をどのように考えているのか説明をお願いしたい。また、年始の作業をすることで得られる、発電の効果などについて、教えてほしい。

（市）特に立ち下げ・立ち上げを行わなかったことに対して、大きなトラブル等もなく、安定的な焼却業務を継続して実施することができた。年始の運用については、日中についてはB直班に加えて、総作業担当係長、作業担当係長、作業長の中から1名、夜間については、C直班の出務をお願いしたいと考えております。年始の3日間での焼却業務により発電した電力のうち、約120万キロワットアワー売却し、その収

入は約 1,600 万円になると想定している。

(組合) 事業系許可業者の搬入については、年末年始も受け入れを行う計画となっているが、受け入れの時間など具体的な考え方について説明をお願いしたい。

(市) クリーンセンターにおける許可業者の年末年始の受付時間の案についてご説明する。12月 29 日（月）と 30 日（火）は荔藻島クリーンセンターが 8 時から 19 時まで、港島クリーンセンターが 7 時 30 分から 16 時まで、他 3 クリーンセンターが 8 時から 16 時まで、31 日（水）は港島クリーンセンターが 7 時 30 分から 21 時まで、荔藻島クリーンセンターが 8 時から 21 時まで、他 3 クリーンセンターが 8 時から 16 時までとなる。また、1月 3 日（土）については港島クリーンセンターにて受け入れを行い、受入時間を、7 時 30 分から 12 時までとさせていただきたいと考えている。参考までに年末の搬入状況についてご説明する。令和 6 年 12 月の搬入台数は、29 日、30 日、31 日、3 日間合計で 730 台となっており、前年の令和 5 年 12 月（812 台）より 82 台減少している。1月 3 日の搬入台数は、106 台で、昨年（103 台）より 3 台増加している。

(組合) 昨年度、年始の許可業者搬入については、港島クリーンセンターで受け入れを行ったが、何かトラブルはあったか。

(市) 1月 3 日の許可業者搬入について、港島クリーンセンターで受け入れを行いましたが、特に大きなトラブルはなかった。

(組合) 布施畠環境センターにおいては、特別作業期間中、直営・私人の搬入台数が増加することが予測される。また、過去には特別作業期間中に火災が発生した事例もあることから、事故防止や火災に対する対策について説明をお願いしたい。

(市) 私人の受入れについては 12 月 26 日（金）までとし、27 日（土）以降の特別受付の実施は予定していない。また、事故防止対策及び火災対策については、常駐警備や巡回警備の各請負業者に対して、より一層、安全対策を徹底するよう、指示させていただく。なお、巡回警備については、平日は 2 回、施設が無人になる年始（1 月 1 日～4 日）は、日に 5 回巡回する。機械警備については常時（24 時間）実施となっている。特に破碎選別施設は、過去に火災が発生しているので、特に注意したいと考えている。

- (組合) これまでの回答を受け、局の考え方を確認することができたため、年末年始特別作業提案については案1にて了承させていただく。しかし、収集・処理業務の現場実態は日々変化するため、計画を策定する際には、過去の事例だけでなく、現場の実情をよく把握した上で柔軟に対応していただき、年末年始特別作業に従事する職員に対しては、丁寧に説明していただくようお願いしたい。
- (市) 年末年始特別作業の実施にあたっては、インフルエンザ等の流行に対する感染症対策など、職員の健康管理のほか、交通安全や作業事故防止の対策を行い、安全性の確保に十分配慮してまいる。そのために、現場の実情をしっかりと把握し、作業計画について職員一人一人へ丁寧な説明が行えるよう、尽力する。引き続き、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いする。